

議 第 2 2 号

令 和 3 年 度

吉野町水道事業特別会計予算書

吉 野 町

目 次

1. 令和3年度吉野町水道事業特別会計予算書

<u>令和3年度吉野町水道事業特別会計予算</u>	<u>1頁</u>
<u>令和3年度吉野町水道事業特別会計予算実施計画</u>	<u>3頁</u>
<u>令和3年度吉野町水道事業特別会計予定キャッシュ・フロー計算書</u>	<u>4頁</u>
<u>給与費明細書</u>	<u>5頁</u>
<u>令和3年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表</u>	<u>7頁</u>
<u>令和3年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項</u>	<u>9頁</u>
<u>令和2年度吉野町水道事業特別会計予定損益計算書（前年度分）</u>	<u>11頁</u>
<u>令和2年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表（前年度分）</u>	<u>13頁</u>
<u>令和2年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項（前年度分）</u>	<u>15頁</u>
<u>令和3年度吉野町水道事業特別会計予算説明書</u>	<u>17頁</u>

令和3年度吉野町水道事業特別会計予算

(総則)

第1条 令和3年度吉野町水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水戸数 (開栓戸数)	3,800件
(2) 年間総給水量	683,000m ³
(3) 一日平均給水量	1,871m ³
(4) 主な建設改良事業等の事業費 峰寺地区配水管布設替工事	49,500千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款 水道事業収益		295,770千円
第1項 営業収益		178,800千円
第2項 営業外収益		116,920千円
第3項 特別利益		50千円
支 出		
第1款 水道事業費用		386,020千円
第1項 営業費用		353,800千円
第2項 営業外費用		28,910千円
第3項 特別損失		310千円
第4項 予備費		3,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額154,030千円は当年度分損益勘定留保資金58,595千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,246千円、減債積立金64,989千円及び建設改良積立金22,200千円で補てんするものとする。)。

収 入		
第1款 資本的収入		133,590千円
第1項 企業債		68,200千円
第2項 工事負担金		0千円
第3項 他会計補助金		65,390千円
第4項 その他資本的収入		0千円
支 出		
第1款 資本的支出		287,620千円
第1項 建設改良費		108,720千円
第2項 企業債償還金		178,900千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
峰寺地区 配水管布 設替工事 他	68,200 千円	証書借入 又は 証券発行	3% 以内	政府資金又は地方公共団体金融機構資金については、その融資条件により、銀行その他の場合には、その債権者と協定するものとする。ただし、財政その他の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上償還又は低利に借換えすることができる。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、15,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 営業費用
- (2) 営業外費用
- (3) 特別損失

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費

34,110千円

(他会計からの補助金)

第9条 簡易水道統合整備事業等における企業債償還金及び水道料金値下げ改定による給水収益の減少分を補てんするため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、93,970千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、2,871千円と定める。

令和 3 年 3 月 日提出

吉 野 町 長 中 井 章 太

令和３年度吉野町水道事業特別会計予算実施計画

収益的収入及び支出
収 入

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備 考
1. 水道事業収益			295,770	
	1. 営業収益		178,800	
		1. 給水収益	176,180	
		2. 受託工事収益	1,350	
		3. その他営業収益	1,270	
	2. 営業外収益		116,920	
		1. 受取利息	70	
		2. 給水分担金	220	
		3. 使用料	7,480	
		4. 雑収益	300	
		5. 他会計補助金	28,580	
		6. 長期前受金戻入益	80,270	
	3. 特別利益		50	
		1. 特別利益	50	

支 出

款	項	目	予定額	備 考
1. 水道事業費用			386,020	
	1. 営業費用		353,800	
		1. 原水及び浄水費	50,550	
		2. 配水及び給水費	43,150	
		3. 受託工事費	1,320	
		4. 総係費	23,070	
		5. 減価償却費	235,710	
	2. 営業外費用		28,910	
		1. 支払利息	25,910	
		2. 消費税	3,000	
	3. 特別損失		310	
		1. 特別損失	310	
	4. 予備費		3,000	
		1. 予備費	3,000	

資本的収入及び支出
収 入

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備 考
1. 資本的収入			133,590	
	1. 企業債		68,200	
		1. 企業債	68,200	
	2. 工事負担金		0	
		1. 工事負担金	0	
	3. 他会計補助金		65,390	
		1. 他会計補助金	65,390	
	4. その他資本的収入		0	
		1. その他資本的収入	0	

支 出

款	項	目	予定額	備 考
1. 資本的支出			287,620	
	1. 建設改良費		108,720	
		1. 施設改良費	108,720	
		2. 固定資産購入費	0	
	2. 企業債償還金		178,900	
		1. 企業債償還金	178,900	

令和3年度吉野町水道事業特別会計予定キャッシュ・フロー計算書
(令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日)

(単位：円)

1 事業活動によるキャッシュ・フロー

当年度純損失	△ 96,844,762
減価償却費	235,710,000
資産減耗費	0
材料費	2,610,000
退職給付引当金の増加額	0
賞与引当金等の増加額	21,974
修繕引当金等の増加額	2,000,000
貸倒引当金の増加額	0
長期前受金戻入額	△ 80,270,000
受取利息及び配当金	△ 70,000
支払利息及び企業債取扱諸費	25,910,000
営業及び営業外未収金減少額	21,270,682
営業及び営業外未払金・未払費用増加額	16,863,964
前払金・前払費用増加額	0
前受金・仮受金増加額	0
その他流動負債の増加額	0
その他流動資産の増加額	0
小計	127,201,858
受取利息及び配当金	70,000
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 25,910,000
業務活動によるキャッシュ・フロー①	101,361,858

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産取得・建設改良事業等実施額	△ 103,083,638
国庫補助金による収入	0
他会計補助金による収入	0
工事負担金による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△ 103,083,638

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	68,200,000
建設改良等の財源に充てるための企業債償還による支出	△ 178,900,000
その他の企業債による収入	0
その他の企業債償還による支出	0
建設改良等の財源に充てるための他会計借入金による収入	0
建設改良等の財源に充てるための他会計借入金償還による支出	0
その他の他会計借入金による収入	0
その他の他会計借入金償還による支出	0
リース債務の支払	0
出資金の受入額	64,476,433
一般会計補助金の受入額	913,567
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 45,310,000

資金増加額（又は減少額）④＝①＋②＋③	△ 47,031,780
資金期首残高	227,248,432
資金期末残高	180,216,652

給 与 費 明 細 書

1. 総括

(単位：千円)

区分		職員数	給与費			法定 福利費	退職 給与金	合 計
			給料	手当	計			
当 年 度	損益勘定支弁職員	(6) 2.00	6,222	4,225	10,447	1,876	1,244	13,567
	資本勘定支弁職員	2.00	8,193	5,758	13,951	2,739	1,639	18,329
	計	(6) 4.00	14,415	9,983	24,398	4,615	2,883	31,896
前 年 度	損益勘定支弁職員	(6) 2.50	11,399	7,073	18,472	3,080	1,913	23,465
	資本勘定支弁職員	1.00	2,828	1,885	4,713	898	566	6,177
	計	(6) 3.50	14,227	8,958	23,185	3,978	2,479	29,642
比 較	損益勘定支弁職員	(0) △ 0.50	△ 5,177	△ 2,848	△ 8,025	△ 1,204	△ 669	△ 9,898
	資本勘定支弁職員	1.00	5,365	3,873	9,238	1,841	1,073	12,152
	計	(0) 0.50	188	1,025	1,213	637	404	2,254

注 1. 職員数欄()内は、パートタイム会計任用職員数について外書き。

手当の内訳	区分	期末勤勉	扶養	児童	通勤	時間外勤務	住居	管理職	管理職特勤
	本年度	5,628	618	0	593	2,760	0	360	24
	前年度	5,141	489	0	300	2,840	0	180	8
	比較	487	129	0	293	△ 80	0	180	16

2. 給料及び手当の増減額の内訳

(単位：千円)

区分	増減額	増減事由別内訳		説 明	備 考
給料	188	昇給に伴う増減	151		平均昇給率 1.6910%
		その他の増減分	37		人事異動 0.5人
手当	1,025	その他の増減額	1,025	前記1.総括欄の手当の内訳のとおり	

3. 給料及び手当の状況

(1) 職員一人当たりの給与

区 分		事務、技術職給料表
令和3年1月1日現在	平均給料月額(千円)	272
	平均給与月額(千円)	288
	平均年齢(歳)	39
令和2年1月1日現在	平均給料月額(千円)	279
	平均給与月額(千円)	296
	平均年齢(歳)	40

(2) 初任給

(単位：円)

区分	一般行政職	技能労務職	一般会計の制度	
			一般行政職	技能労務職
高校卒	150,600	143,800	150,600	132,300
短大卒	160,100	—	160,100	—
大学卒	171,700	163,300	171,700	—

(3) 級別職員数

区 分	事務、技術職		
	級	職員数	構成比
令和3年1月1日現在	1級	1	33%
	2級	—	—
	3級	2	67%
	4級	—	—
	5級	—	—
	6級	—	—
	計	3	100%
令和2年1月1日現在	1級	—	—
	2級	1	33%
	3級	2	67%
	4級	—	—
	5級	—	—
	6級	—	—
	計	3	100%

(級別の標準的な職務内容)

区 分	1級	2級	3級	4級	5級	6級
一般行政職	主事、主事補の職務	主査及びこの職務に相当する職務	主任及びこの職務に相当する職務。 高度の知識又は経験を必要とする主査及びこの職務に相当する職務	課長補佐及びこの職務に相当する職務	課長、主幹及びこの職務に相当する職務	参事及びこの職務に相当する職務

(4) 期末、勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率	備 考
	6月	12月		
本年度	2.200ヵ月	2.200ヵ月	4.40ヵ月	
前年度	2.250ヵ月	2.250ヵ月	4.50ヵ月	
一般会計の制度	2.200ヵ月	2.200ヵ月	4.40ヵ月	

(5) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同
扶養手当	同一
調整手当	同一
住居手当	同一
通勤手当	同一

令和３年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表
(令和４年３月31日)

(単位：円 税抜)

資産の部

１ 固定資産

(1)有形固定資産

イ 土地 169,641,272

ロ 建物 154,555,040

減価償却累計額 △ 75,627,202 78,927,838

ハ 構築物 7,299,293,723

減価償却累計額 △ 2,979,013,575 4,320,280,148

ニ 機械及び装置 1,981,765,401

減価償却累計額 △ 1,323,467,632 658,297,769

ホ 車両及び運搬具 8,713,000

減価償却累計額 △ 8,277,350 435,650

ヘ 器具及び備品 40,457,278

減価償却累計額 △ 7,426,920 33,030,358

ト 建設仮勘定 6,047,000

有形固定資産合計 5,266,660,035

(2)無形固定資産

イ 水利権 86,561,480

無形固定資産合計 86,561,480

固定資産合計 5,353,221,515

２ 流動資産

(1)現金預金 180,216,652

(2)未収金

イ 現年度分未収金 42,994,400

ロ 過年度分未収金 1,692,622

未収金合計 44,687,022

(3)前払金 0

(4)その他流動資産 0

(5)貸倒引当金 △ 1,200,000

流動資産合計 223,703,674

資産合計 5,576,925,189

負債の部

３ 固定負債

(1)企業債 2,056,663,236

(2)引当金 6,000,000

固定負債合計 2,062,663,236

４ 流動負債

(1)未払金 45,831,358

(2)預かり金 12,385,340

(3)企業債 182,635,908

(4)引当金 2,283,784

流動負債合計 243,136,390

５ 繰延収益

(1)長期前受金

イ 工事負担金 1,387,169,071

ロ 国庫補助金 1,495,617,579

ハ 県補助金 385,861,485

ニ 一般会計補助金 10,330,432

ホ 工事寄付金 47,588,216

ヘ 水力発電交付金 12,477,500

ト その他資本剰余金 178,029,400

長期前受金合計 3,517,073,683

(2)長期前受金			
収益化累計額			
イ 工事負担金	△ 718,325,875		
ロ 国庫補助金	△ 698,453,060		
ハ 県補助金	△ 243,849,244		
ニ 一般会計補助金	△ 5,442,134		
ホ 工事寄付金	△ 29,988,740		
ヘ 水力発電交付金	△ 7,516,662		
ト その他資本剰余金	△ 58,998,181		
長期前受金			
収益化累計額合計		△ 1,762,573,896	
繰延収益合計			1,754,499,787
負債合計			<u>4,060,299,413</u>
資本の部			
6 資本金			
(1)自己資本金			
イ 固有資本金	49,023,057		
ロ 繰入資本金	1,207,737,472		
ハ 組入資本金	<u>175,951,558</u>		
自己資本金合計		<u>1,432,712,087</u>	
資本金合計			1,432,712,087
7 剰余金			
(1)資本剰余金			
イ 工事負担金		84,664,434	
ロ 国庫補助金		14,204,000	
ハ 県補助金		7,563,000	
ニ 一般会計補助金		808,085	
ホ 工事寄附金		49,499,163	
ヘ その他資本剰余金		<u>1,092,000</u>	
資本剰余金合計			157,830,682
(2)利益剰余金			
イ 減債積立金		137,433,607	
ロ 利益積立金		0	
ハ 建設改良積立金		73,470,000	
ニ 当年度未処分			
利益剰余金			
〔 △の場合は 未処理欠損金 〕		<u>△ 284,820,600</u>	
利益剰余金合計			<u>△ 73,916,993</u>
剰余金合計			<u>83,913,689</u>
資本合計			<u>1,516,625,776</u>
負債＋資本合計			<u>5,576,925,189</u>

令和3年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品
先入れ先出し原価法による。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数

建物及び附属設備	10～60年
構築物	10～60年
機械及び装置	5～20年
車両及び運搬具	4年
工具器具及び備品	2～15年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数

水利権	20年
-----	-----

3. 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

本町は、退職手当組合に加入しており、水道事業特別会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、水道事業特別会計が一般会計に対して負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、水道事業特別会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 特別修繕引当金

設備等に係る定期修繕費用の支出に備えるため、支出見込額のうち前回の定期修繕の日から当年度末までの期間に対応する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不能欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

4. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当年度の費用として処理している。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記

1. 予定キャッシュ・フロー計算書等の表示方法

間接法による

Ⅲ. 予定貸借対照表等に関する注記

1. 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は797,045千円である。

2. 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

令和3年度において、期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費として7,043千円を支給することとなったため、賞与引当金948千円を取り崩した。

(2) 貸倒引当金の取崩し

令和3年度において、未納水道使用料110千円を不納欠損することとなったため、貸倒引当金100千円を取り崩した。

令和2年度吉野町水道事業特別会計予定損益計算書（前年度分）（単位：円 税抜）
（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

1 営業収益			
(1) 給水収益	124,591,470		
(2) 受託工事収益	75,495		
(3) その他営業収益	<u>1,311,735</u>	125,978,700	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	39,550,264		
(2) 配水及び給水費	44,715,645		
(3) 総係費	20,227,873		
(4) 減価償却費	<u>232,159,464</u>	<u>336,653,246</u>	
営業利益			
(△の場合は営業損失)			△ 210,674,546
3 営業外収益			
(1) 受取利息	70,000		
(2) 給水分担金	1,490,000		
(3) 使用料	6,683,150		
(4) 雑収益	806,411		
(5) 他会計補助金	81,519,933		
(6) 長期前受金戻入益	<u>80,249,783</u>	170,819,277	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	27,869,195		
(2) 雑支出	<u>5,411,713</u>	<u>33,280,908</u>	<u>137,538,369</u>
経常利益			
(△の場合は経常損失)			△ 73,136,177
5 特別利益			
(1) 特別利益	<u>13,750</u>	13,750	
6 特別損失			
(1) 特別損失	<u>4,780</u>	<u>4,780</u>	<u>8,970</u>
当年度純利益			
(△の場合は純損失)			△ 73,127,207
前年度繰越利益剰余金			
(△の場合は繰越欠損金)			<u>△ 114,848,631</u>
当年度未処分利益剰余金			
(△の場合は未処理欠損金)			<u><u>△ 187,975,838</u></u>

令和2年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表（前年度分）
（令和3年3月31日）

（単位：円 税抜）

資産の部

1 固定資産

(1)有形固定資産

イ 土地 169,641,272

ロ 建物 154,555,040

減価償却累計額 △ 72,473,202 82,081,838

ハ 構築物 7,231,649,785

減価償却累計額 △ 2,830,197,575 4,401,452,210

ニ 機械及び装置 1,963,333,979

減価償却累計額 △ 1,248,516,632 714,817,347

ホ 車両及び運搬具 8,713,000

減価償却累計額 △ 8,277,350 435,650

ヘ 器具及び備品 19,401,278

減価償却累計額 △ 3,447,920 15,953,358

ト 建設仮勘定 11,390,938

有形固定資産合計 5,395,772,613

(2)無形固定資産

イ 水利権 91,371,480

無形固定資産合計 91,371,480

固定資産合計 5,487,144,093

2 流動資産

(1)現金預金 227,248,432

(2)未収金

イ 現年度分未収金 64,260,144

ロ 過年度分未収金 1,697,560

未収金合計 65,957,704

(3)前払金 0

(4)その他流動資産 0

(5)貸倒引当金 △ 1,200,000

流動資産合計 292,006,136

資産合計 5,779,150,229

負債の部

3 固定負債

(1)企業債 2,171,099,144

(2)引当金 4,000,000

固定負債合計 2,175,099,144

4 流動負債

(1)未払金 28,967,394

(2)預かり金 12,385,340

(3)企業債 178,900,000

(4)引当金 948,026

流動負債合計 221,200,760

5 繰延収益

(1)長期前受金

イ 工事負担金 1,387,169,071

ロ 国庫補助金 1,495,617,579

ハ 県補助金 385,861,485

ニ 一般会計補助金 9,416,865

ホ 工事寄付金 47,588,216

ヘ 水力発電交付金 12,477,500

ト その他資本剰余金 178,029,400

長期前受金合計 3,516,160,116

(2)長期前受金			
収益化累計額			
イ 工事負担金	△ 688,545,875		
ロ 国庫補助金	△ 662,003,060		
ハ 県補助金	△ 237,829,244		
ニ 一般会計補助金	△ 5,182,134		
ホ 工事寄付金	△ 28,948,740		
ヘ 水力発電交付金	△ 7,246,662		
ト その他資本剰余金	△ 52,548,181		
長期前受金			
収益化累計額合計		△ 1,682,303,896	
繰延収益合計			1,833,856,220
負債合計			<u>4,230,156,124</u>
資本の部			
6 資本金			
(1)自己資本金			
イ 固有資本金	49,023,057		
ロ 繰入資本金	1,143,261,039		
ハ 組入資本金	<u>175,951,558</u>		
自己資本金合計		<u>1,368,235,654</u>	
資本金合計			1,368,235,654
7 剰余金			
(1)資本剰余金			
イ 工事負担金		84,664,434	
ロ 国庫補助金		14,204,000	
ハ 県補助金		7,563,000	
ニ 一般会計補助金		808,085	
ホ 工事寄附金		49,499,163	
ヘ その他資本剰余金		<u>1,092,000</u>	
資本剰余金合計			157,830,682
(2)利益剰余金			
イ 減債積立金		137,433,607	
ロ 利益積立金		0	
ハ 建設改良積立金		73,470,000	
ニ 当年度未処分			
利益剰余金			
〔 △の場合は 〕			
未処理欠損金		<u>△ 187,975,838</u>	
利益剰余金合計			<u>22,927,769</u>
剰余金合計			<u>180,758,451</u>
資本合計			<u>1,548,994,105</u>
負債＋資本合計			<u>5,779,150,229</u>

令和2年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項（前年度分）

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品
先入れ先出し原価法による。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数

建物及び附属設備	10～60年
構築物	10～60年
機械及び装置	5～20年
車両及び運搬具	4年
工具器具及び備品	2～15年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数

水利権	20年
-----	-----

3. 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

本町は、退職手当組合に加入しており、水道事業特別会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、水道事業特別会計が一般会計に対して負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、水道事業特別会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 特別修繕引当金

設備等に係る定期修繕費用の支出に備えるため、支出見込額のうち前回の定期修繕の日から当年度末までの期間に対応する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不能欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

4. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当年度の費用として処理している。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記

1. 予定キャッシュ・フロー計算書等の表示方法

間接法による

Ⅲ. 予定貸借対照表等に関する注記

1. 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は862,433千円である。

2. 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

令和2年度において、期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費として5,521千円を支給することとなったため、賞与引当金1,144千円を取り崩した。

令和３年度吉野町水道事業特別会計予算説明書

収益的收入

款	項	目	本年度	前年度	比 較
1. 水道事業収益			295, 770	305, 660	△ 9, 890
	1. 営業収益		178, 800	187, 280	△ 8, 480
		1. 給水収益	176, 180	185, 730	△ 9, 550
		2. 受託工事収益	1, 350	30	1, 320
		3. その他営業収益	1, 270	1, 520	△ 250
	2. 営業外収益		116, 920	118, 330	△ 1, 410
		1. 受取利息	70	130	△ 60
		2. 給水分担金	220	220	0
		3. 使用料	7, 480	7, 260	220
		4. 雑収益	300	290	10
		5. 他会計補助金	28, 580	30, 230	△ 1, 650
		6. 長期前受金戻入益	80, 270	80, 200	70
	3. 特別利益		50	50	0
		1. 特別利益	50	50	0
収益的收入合計			295, 770	305, 660	△ 9, 890

収益的支出

款	項	目	本年度	前年度	比 較
1. 水道事業費用			386, 020	389, 150	△ 3, 130
	1. 営業費用		353, 800	354, 800	△ 1, 000
		1. 原水及び浄水費	50, 550	46, 100	4, 450
		2. 配水及び給水費	43, 150	53, 410	△ 10, 260

(単位：千円)

節		備 考
区分	金 額	
1. 水道料金	176,180	水道料金
1. 工事負担金	1,320	小名・殿川地区飲料水供給施設整備工事
2. 材料売却収益	30	新規加入時等材料
1. 手数料	1,080	下水道料金徴収事務・休止開栓
2. 雑収益	190	料金システム関係（保守・賃借料）
1. 受取利息	70	預金利息
1. 給水分担金	220	新規加入分担金（一般 2件）
1. 庁舎使用料	7,480	飯貝庁舎使用料（下水・農排・環境・まちづくり）
1. 雑収益	300	ダム警報装置土地賃借・漁協電気代 外
1. 一般会計補助金	28,580	企業債償還利息・料金改定補填
1. 工事負担金長期前受金戻入	29,780	
2. 国庫補助金長期前受金戻入	36,450	
3. 県補助金長期前受金戻入	6,020	
4. 一般会計補助金長期前受金戻入	260	
5. 工事寄付金長期前受金戻入	1,040	
6. 水力発電交付金長期前受金戻入	270	
7. その他資本剰余金長期前受金戻入	6,450	
1. 過年度損益修正	50	

(単位：千円)

節		備 考
区分	金 額	
1. 給料	140	会計年度任用職員5名分
2. 備消耗品費	140	浄水施設用消耗品
3. 委託料	17,730	施設更新計画・保守（計装機器・ポンプ・電気）・施設清掃
4. 手数料	2,870	水質検査
5. 修繕料	9,240	浄水場内設備修理 外
6. 動力費	12,280	飯貝浄水場電気代
7. 薬品費	3,000	塩素・PAC
8. 負担金	3,150	水質検査センター組合
9. 特別修繕引当金繰入額	2,000	飯貝浄水場活性炭ろ過機ろ材交換
1. 給料	1,670	会計年度任用職員1名分
2. 手当	370	会計年度任用職員1名分

款	項	目	本年度	前年度	比 較
		3. 受託工事費	1,320	0	1,320
		4. 総係費	23,070	23,080	△ 10
		5. 減価償却費	235,710	232,210	3,500
	2. 営業外費用		28,910	31,040	△ 2,130
		1. 支払利息	25,910	28,540	△ 2,630
		2. 消費税	3,000	2,500	500
	3. 特別損失		310	310	0
		1. 特別損失	310	310	0
	4. 予備費		3,000	3,000	0
		1. 予備費	3,000	3,000	0
収益の支出合計			386,020	389,150	△ 3,130

節		備 考
区分	金 額	
3. 備消耗品費	300	配水施設用消耗品
4. 通信運搬費	1,560	テレメーター・施設警報通知用電話
5. 委託料	4,840	検針業務・漏水調査業務
6. 賃借料	620	施設用地借地料
7. 修繕料	11,390	漏水修理 外
8. 動力費	13,860	加圧ポンプ電気代
9. 材料費	2,610	量水器・漏水修理材料
10. 工事請負費	5,930	量水器取替
1. 工事請負費	1,320	小名・殿川地区飲料水供給施設整備工事
1. 給料	6,230	職員2名分
2. 手当	3,440	職員2名分
3. 法定福利費	1,720	職員2名分
4. 旅費	80	研修会等参加旅費
5. 退職給与金	1,250	職員2名分
6. 備消耗品費	900	事務用品
7. 燃料費	860	公用車ガソリン
8. 印刷製本費	270	料金システム帳票類 外
9. 通信運搬費	770	電話代・郵送料
10. 委託料	1,250	システム保守(会計・料金) 外
11. 手数料	580	口座振替・コンビニ収納・車検 外
12. 賃借料	640	料金システムリース・職員駐車場土地
13. 修繕料	990	公用車修理 外
14. 会費負担金	120	日本水道協会会費 外
15. 保険料	570	施設・公用車保険
16. 雑費	390	浄化槽点検・庁舎清掃用品 外
17. 公課費	50	自動車重量税
18. 使用料	690	複写機使用料 外
19. 光熱水費	1,200	庁舎電気・水道・ガス
20. 賞与引当金繰入額	970	職員2名分(期末勤勉手当・共済期末)
21. 貸倒引当金繰入額	100	
1. 有形固定資産減価償却費	230,900	建物・構築物・電気機械
2. 無形固定資産減価償却費	4,810	水利権
1. 企業債利息	25,910	
1. 消費税	3,000	
1. 過年度損失修正	300	期間外損益修正
2. 貸し倒れに関する消費税	10	
1. 予備費	3,000	

資本的收入

款	項	目	本年度	前年度	比 較
1. 資本的收入			133,590	112,110	21,480
	1. 企業債		68,200	37,400	30,800
		1. 企業債	68,200	37,400	30,800
	2. 工事負担金		0	10,610	△ 10,610
		1. 工事負担金	0	10,610	△ 10,610
	3. 他会計補助金		65,390	61,490	3,900
		1. 他会計補助金	65,390	61,490	3,900
	4. その他資本的收入		0	2,610	△ 2,610
		1. その他資本的收入	0	2,610	△ 2,610
資本的收入合計			133,590	112,110	21,480

資本の支出

款	項	目	本年度	前年度	比 較
1. 資本の支出			287,620	272,270	15,350
	1. 建設改良費		108,720	107,100	1,620
		1. 施設改良費	108,720	93,020	15,700
		2. 固定資産購入費	0	14,080	△ 14,080
	2. 企業債償還金		178,900	165,170	13,730
		1. 企業債償還金	178,900	165,170	13,730
資本の支出合計			287,620	272,270	15,350

(単位：千円)

節		備 考
区分	金 額	
1. 企業債	68,200	峰寺地区配水管布設替・水道管路管理システム
1. 工事負担金	0	
1. 一般会計補助金	65,390	企業債償還元金
1. その他資本的収入	0	

(単位：千円)

節		備 考
区分	金 額	
1. 給料	8,200	職員2名分
2. 手当	5,740	職員2名分
3. 法定福利費	2,740	職員2名分
4. 退職給与金	1,640	職員2名分
5. 委託料	19,250	水道管路管理システム整備・配管工事設計（峰寺）
6. 修繕料	5,280	施設等修繕
7. 工事請負費	65,870	配管（峰寺）・ポンプ（峰寺）・レレメーター（御園） 外
1. 工具器具及び備品購入費	0	
1. 元金償還金	178,900	